

はまます いっぺかだれや つうしん

～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

vol.64

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」
という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年12月1日
発行者：石狩市浜益区地域おこし協力隊

隊員紹介



井上 優太

冬になると体が重くなるので、その前に痩せねば！と思い立ち、2週間で2kg落としました。

あと2kg落としてより動ける身体をゲットします！

今月の〇〇

毎週木曜日22時はTVドラマ「Silent」を観るので予定入れません。ドラマにハマるのはかれこれ数年ぶりで、毎週楽しみにしています。丁寧な描写・繊細な表現が好きです。

果物といえば…実りの秋！

9～11月 収穫作業

9月中旬ごろから、果樹園の種類豊富な果物の収穫作業に取り組んでいます。収穫作業も3度目になり、目もようやく自然慣れしてきて、めばしいものを手早く収穫することができるようになりました。

今年は、強風で果物が落とされることもあり、これまで育ててきたことを考えると切ない気持ちで拾うようなこともありましたが、それでも厳しい冬を越え、花を咲かせ、実を成らせた果物を収穫するときの喜びはひとしおでした。



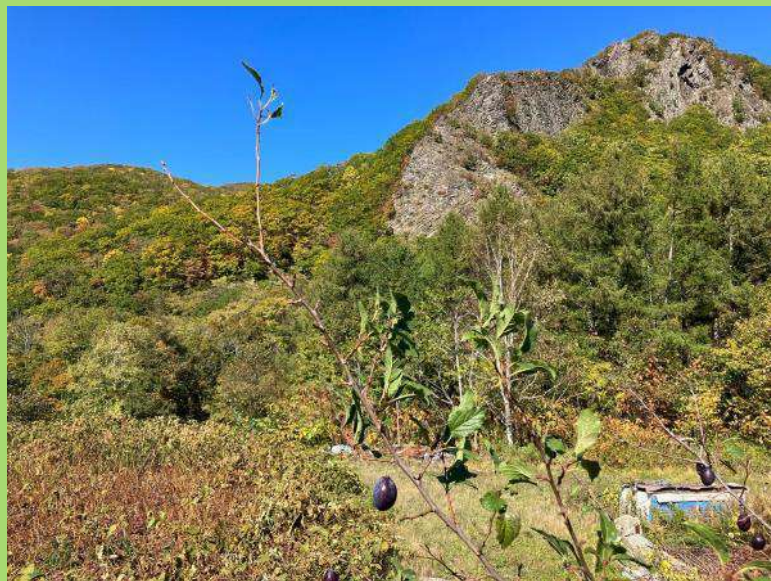
りんご (9～11月) 梨 (9～10月) プルーン (9～10月)

圧倒的に量が多く、10月末以降は毎日のように収穫していました。軸を押さえ、軽くひねるときれいに収穫できます。

今年は強風で一部の梨が落とされましたが、強風にも耐えた力強い梨を収穫しました。

梨やりんごと比べると、早い時期から収穫しました。まだハチが飛ぶ時期で、刺されないように注意しながら作業しました。

浜益定住に向けて…!



2020年から始まった協力隊活動も、10月で3年目に突入しました。「稼ぎの種を見つけて、任期終了後も浜益で暮らしたい!」と思いながら、あれこれ調べたり、できそうなことを少し試したりする日々です。

着任からずっと取り組んできた「果樹栽培」を大事にしたいとあって、繁忙期と閑散期があり、時期的にできることとできないことがあります。前向きに浜益で生きていく道を探していきたいです。



今月の1コマ 英藍高校でスピーチ



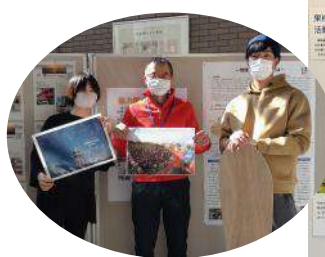
9月15日、札幌英藍高校の総合授業の一環でSDGsに関するプログラムがあり、「果物の廃棄」をテーマにスピーチしました。

当日は約20名の生徒に対し、紙芝居形式で説明しました。約15分の発表を2回行いました。果物がテーマということで、参加者は女子生徒が約8割でした。

私にとっては、資料を作る過程で、客観的に果樹園の現状や自分の活動を見つめなおすことにもつながり、いい機会になりました。

実は学生時代にもこのようなプレゼンに取り組んだ経験があります。当日は果樹園の現状を知ることができたと感じました。

協力隊活動報告 パネル展のお知らせ



展示イメージ(昨年分より)

昨年度に引き続き、協力隊活動報告の
パネル展示を行います!

2月中旬～3月末、厚田浜益区内での展示も
予定しています。詳細は追ってお知らせします!

編集後記

今月で収穫期も終わり、厳しい冬に向けての準備や、雪の対処が始まることを感じました。

昨年は大雪で家の窓が埋まり、ガラスを壊さないように掘り出したり、屋根が折れて数日かけて雪下ろしすることになったり…。果樹園のこともあるので大変だったなあ…。

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで!

地域おこし協力隊

井上 優太

090-1520-2048

☎: r2010003@city.ishikari.hokkaido.jp

【はます いっぺかだれや つうしん】の次号は2月1日発行予定です。

